

## はじめに



「水」は、私たちにとって、一日たりとも欠くことのできないものです。

その水を、いつでも安心して安定的に使えるようにするのが水道であり、これまで市民生活や都市活動を支えるライフラインとして重要な役割を担ってまいりました。

香取市の水道事業は、平成18年3月27日の合併により引継いだ昭和29年8月通水の佐原地区水道事業、昭和32年7月通水の小見川・山田地区水道事業、そして昭和47年11月通水の栗源地区簡易水道事業の3事業を運営しております。

近年、少子高齢化による人口の減少や長引く景気の低迷などにより、水需要が年々減少している状況に加え、今後、浄水場や水道管などの施設の老朽化に伴い、大規模な更新、改修、耐震化事業が必要になると想定されます。これらには多額の費用が必要となり、事業運営は益々厳しくなることが予想されます。

また、環境への配慮、災害対策等への取組が求められるとともに、その基礎となる運営基盤の強化や技術力の確保が必要とされるなど、水道事業には様々な課題が山積しております。

このような状況に対応し、将来にわたり市民の皆様に安全な水を安定して供給していくための指針として「香取市水道ビジョン」を策定いたしました。

今後は、このビジョンに掲げる将来像の実現に向け努力してまいりますので、計画推進のために市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、このビジョンの策定にあたりまして、熱心にご審議いただきました香取市水道事業等運営審議会の皆様に深く感謝申し上げます。

平成22年3月

香取市長  
宇井成一